

■ 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード
お知らせ	<ul style="list-style-type: none">● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 「配当金計算書」について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料として使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界経済が大きな減速トレンドに入中、当社の事業環境も厳しさを増してきております。2019年上半期においては、歯科製品関連事業、工業製品関連事業ともに減収減益となり、厳しい結果となりました。

当社の海外市場向けの売上高は、全体の約8割を占めており、世界の経済情勢や為替相場の変動による影響を大きく受けます。より深刻さを増す米中貿易摩擦、混迷が続くBREXIT、欧州主要各国の経済減速、新興国の経済悪化、円高の進行等は、当社が事業を推進するうえで、強い向かい風となっています。

一方、今後の事業成長の手こたえもありました。本年3月にドイツで行われた世界最大の歯科展示会「IDS 2019」において、当社の中長期的な成長を実現するための世界戦略・新製品群を発表しました。ハンドピースやオートクレープ等、いずれも当社の製品ラインアップの中核を成すものであり、「世界初」や「世界最高」のスペックを有する、満足のいくものとして仕上がりました。幸いにも、来場者からも高い評価の声を頂戴することができました。足元では第一弾としてハンドピース「S-Max Mシリーズ」を発売、市場からの反応も良好で、受注を積み重ねています。

当面、厳しい事業環境が続くものと捉えていますが、このような状況にあっても、当社は中長期的な視点に立って、粛々と課題に取り組んでまいります。そして、お客様に感動を与える革新的な製品の開発、高品質を支える製造技術の向上、世界中のお客様から信頼される販売ネットワークおよびアフターサービスの拡充を推進し、グローバルリーディングカンパニーとしてさらなる高みを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待頂くとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

中西 英一




2019年上半期の業績について

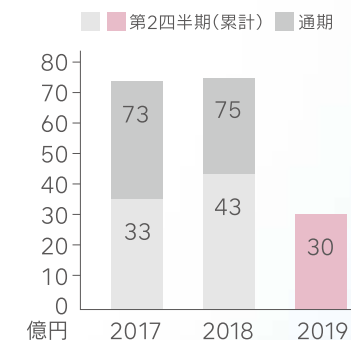
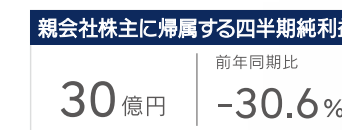
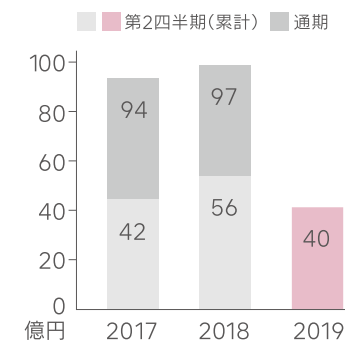
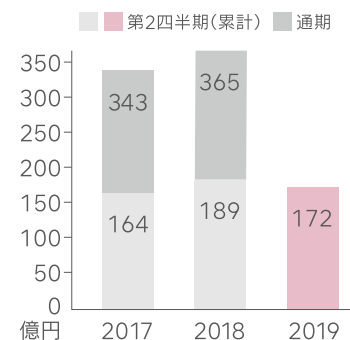
2019年上半期は、世界的な経済減速や為替相場における円高の進行等、厳しい事業環境が続き、歯科製品関連事業、工業製品関連事業ともに伸び悩み、売上高は前年同期比 8.7%減の172億円となりました。

営業利益は、減収に伴う利益減に加え、展示会費や新製品関連の広告費、人件費の増加等により、前年同期比 28.5%減の40億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業減益に加え、円高進行に伴う為替差損を計上したため前年同期比 30.6%減の30億円となりました。

歯科製品関連事業では、前年上半期は診療報酬の改定で滅菌関連需要が立ち上がり、販売が伸長しましたが、当期はその反動で大幅減となりました。また、国内外のOEMビジネスは、供給先メーカーの在庫整理局面に入り、販売は低調となりました。

工業製品関連事業では、北米および欧州の販売は順調に推移しましたが、米中貿易摩擦の影響から、中国をはじめとするアジアおよび国内市場の販売が大きく落ち込みました。



歯科製品関連事業の概況について

主力のハンドピース、インプラント関連製品、予防歯科関連製品および訪問歯科診療製品等の拡販、世界的なブランディング、アフターサービスの強化に努めましたが、国内市場の特需後の反動減等が大きく響き、また、円高の進行による売上高の目減り等もあり、減収となりました。

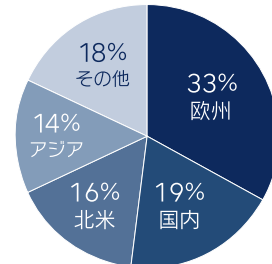
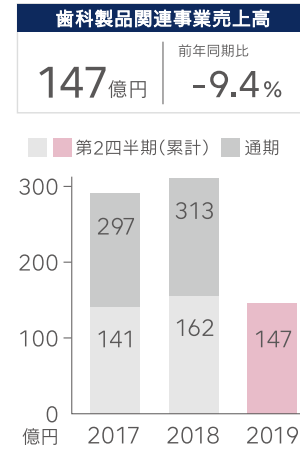
[欧州] 欧州市場の売上高は前年同期比10.0%減の49億円となりました。各国現地法人の販売は堅調でしたが、OEMビジネスが低調となりました。

[国内] 国内市場の売上高は前年同期比17.5%減の28億円となりました。前年の滅菌関連特需の反動で大きく落ち込みましたが、6月に発売した新製品の受注は順調に積み上がりました。

[北米] 北米市場の売上高は前年同期比4.8%減の23億円となりました。自社ブランドは販売増で市場シェアを伸ばしましたが、OEMビジネスが軟調でした。

[アジア] アジア市場の売上高は前年同期比5.5%減の21億円となりました。アジア各国の販売は堅調でしたが、主力の中国市場が低迷しました。

[その他] その他地域の売上高は前年同期比5.2%減の25億円となりました。政情不安が増す中近東や、経済が悪化している南米の販売が落ち込みましたが、在庫解消したロシアが復調したほか、豪州も堅調でした。



歯科製品関連事業
2019年上半期
地域別売上高比率

工業製品関連事業の概況について

2019年上半期の工業製品関連事業の売上高は、営業体制の整備が進んだ北米や欧州では伸長したものの、米中貿易摩擦の影響が大きく出た中国やアジア各国、国内では設備投資意欲が冷え込み、販売は落ち込みました。

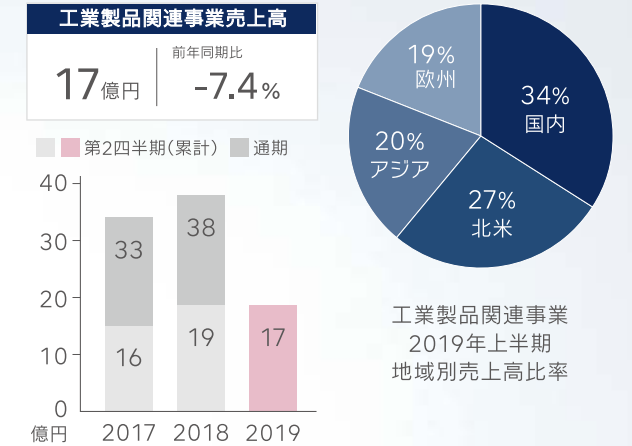
厳しい事業環境が続く中、当社は引き続き小径・高速スピンドル製品を基軸に、「生産現場の自動化」をテーマにシステムインテグレータとの協業を推進するとともに、これまでフォローが不十分であった関東圏での営業活動を積極化し、拡販を目指していきます。

2019年度の業績予想について

通期の業績予想は、2019年2月7日に公表した予想数値に変更なく、売上高は前期比0.6%増の367億円、営業利益は前期比5.3%減の92億円と見込んでいます。

円高の進行によって売上が目減りするものの、ハンドピースの新製品の受注状況が好調であることや、計画通りに経費管理されていることなどから、期初の予想数値を据え置きました。

なお、2019年通期の業績予想の前提の為替レートは、1USドル=105円、1ユーロ=120円です。



工業製品関連事業
2019年上半期
地域別売上高比率

■ 通期業績予想

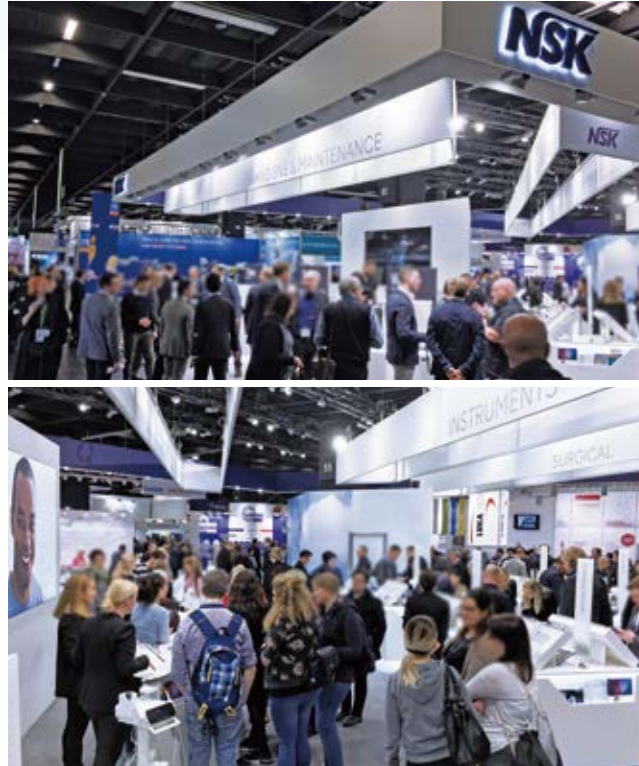
売上高	367億円	前期比 +0.6%
営業利益	92億円	前期比 -5.3%
経常利益	95億円	前期比 -10.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	67億円	前期比 -11.6%

■ 想定為替レート

1USドル	105円	1ユーロ	120円
-------	------	------	------

世界最大規模のデンタルショー「IDS2019」に出展

3月12日から5日間、ドイツ・ケルンにおいて世界最大規模の歯科展示会「IDS2019」が開催されました。世界64カ国から2,327社が出展、166カ国から16万人以上が来場した非常に盛大なデンタルショーとなりました。当社は過去最大規模のブースを出展し、世界市場のさらなるシェアアップを図るための世界戦略・新製品を発表しました。飛躍的な性能アップ・コスト競争力アップを実現したミドルクラスの歯科治療用ハンドピース、世界最短のサイクルタイムを実現するオートクレープ、昨年末に子会社化したIntegration Diagnostics Sweden ABのインプラント定着度測定器をお披露目したところ、世界各地の歯科医師・歯科衛生士の方々や流通関係者様が連日押し寄せ、大盛況となりました。来場者の皆様は一様に新製品への関心が高く、展示ブーススタッフとの活発なコミュニケーションを通じて、新製品が提供する「世界初」のコンセプトや「世界最高」のスペックに触れられ、非常に高く評価して下さいました。



▲ IDS2019 当社出展ブース



▲ 商談エリア



▲ ハンドピース新製品「S-Max Mシリーズ」



▲ オートクレープ新製品「N1clave」



▲ インプラント定着度測定器

歯科治療用ハンドピース新製品「S-Max Mシリーズ」

欧米を中心とした歯科医院のグループ経営化(グループ・プラクティス)へのシフトや、新興国産の市場進出等、世界の歯科関連市場はプライスオリエンテッドな様相が続いています。厳しい競争が続く中、当社の持続的な成長を実現させるための世界戦略製品「S-Max Mシリーズ」を発売しました。製品ラインアップのミドルレンジを担う普及品で、性能アップ・コスト競争力アップを実現しています。

MORE POWERFUL

最新の流体シミュレーションソフトウェアを駆使してハンドピースの内部構造を最適化、従来品に比べ、切削能力(トルク)を30%向上させました。歯を削る能力の向上は、治療時間の短縮につながり、歯科医師様・患者様、双方にメリットを提供しています。

DURABILITY

- 錆に強く、頑丈なステンレスボディ
- セラミック製ボールベアリング内蔵
スチール製に比べ、硬く・軽く・長寿命
- ヘッド内部への異物混入の防止機構を搭載

耐久性の向上により、トータルコスト削減に寄与しています。

USABILITY

簡単に交換可能なカートリッジ仕様を採用。修理に出す時間ロスを抑え、常に良好な状態での施術を可能にしています。



世界で積極的なマーケティング活動を展開

2019年上半期においても、世界各地の展示会に出展しました。展示会に来場される歯科医療従事者様や流通関係者様に当社の製品を直接手にとって体験頂くことは、大変有効なマーケティング手法となっています。今後も展示会を通じて、NSKブランドの認知度向上とさらなるシェア拡大を図ってまいります。

■ 北米

北米では、エアタービンから電気モータへの需要のシフトを捉えて上市したマイクロモータシステム「NLZ」を軸に拡販を進めています。競合品スペックを凌駕する小型・軽量・高精度モータ、操作性に優れた超小型ディスプレイ等が高い評価を得ています。



▲北米展示会

■ アジア

東南アジアにおいて、「ハローキティ」コラボ企画を展開しています。東南アジア地域においては、女性歯科医師の割合は6割以上と言われています。地域の女性にも大人気のキャラクターとのコラボレーションは、特に若い女性層の顧客獲得に効果をあげています。



▲フィリピン展示会・ハローキティコラボ企画

■ ロシア

本年7月、モスクワにおいて現地代理店向けにアフターサービストレーニングを開催しました。グローバルレベルでお客様にご満足頂けるアフターサービス網を構築することは、当社にとって重要な戦略のひとつです。国内事業で培った高い修理技術とノウハウを、世界各地の現地法人やディーラーの修理担当者に継承する活動を推進しています。



▲ロシア・アフターサービストレーニング

メディカル分野における営業活動

当社最大の強みである「削るテクノロジー」を活用し、第3の事業の柱として立ち上げたメディカル事業においては、主に脳神経外科、整形外科の医療分野に向けて積極的な営業活動を展開してきました。主力製品である「プリマドシリーズ」は、国内外の医療機関への導入実績を積み上げてきています。さらなるブランド認知度向上を目指し、KOL(Key Opinion Leader)との連携による教育コース協賛や製品トライアル、解剖学実習への機器提供を積極化させています。



▲タイ・バンコクでの日本PED研究会ハンズオン

▲中国脊椎内視鏡学会への日本人医師招聘

工業製品関連事業の進展

本年4月、名古屋で開催された「機械要素技術展」に出展しました。製品ラインアップの主軸である小径・高精度・超高速スピンドル製品は、微細精密加工を伴う領域で性能を発揮します。展示会開催地である愛知県を中心に広がっている自動車関連分野の商圏をターゲットに、生産現場の自動化をテーマとした提案型営業活動を積極的に展開しました。

その一方で、当該事業分野では米中貿易摩擦による影響によって設備投資が減少傾向にあることから、従来の商圏以外への機会創出を目指し、新たに関東圏等への営業深耕を開始しました。



▲名古屋機械要素技術展(M-Tech)に出展



▲モータ&スピンドル製品

▲マイクログラインダ&先端工具

日本空間デザイン賞にて金賞を受賞

本社R&Dセンター「RD1」、新工場「A1」に設置した当社ショールーム「NSK MUSEUM」が、日本空間デザイン協会および日本商環境デザイン協会が主催する、日本唯一にして最大の空間デザインアワード「日本空間デザイン賞」の「ショップ空間部門」において、最高位となる金賞を受賞しました。訪れて下さった全ての方々に、当社への理解を深めて頂くための空間づくりが高く評価されました。



▲ 本社「RD1」3階ショールーム



▲ 新工場「A1」2階ショールーム

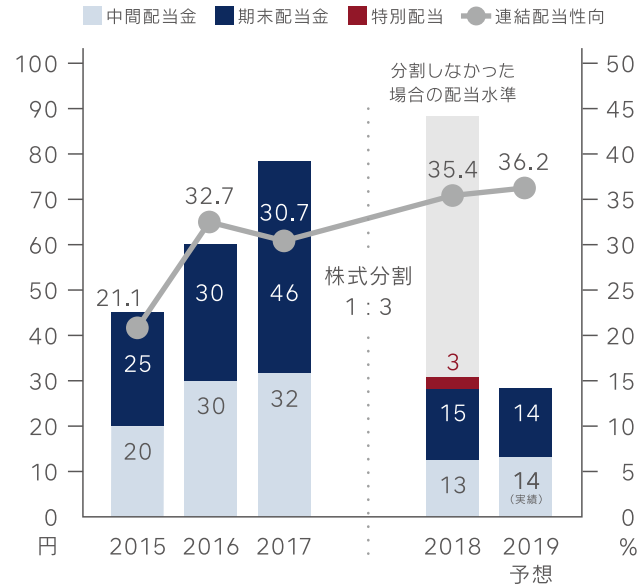
株主還元について

■ 中間配当実績

株主の皆様への利益還元は当社の重要な経営課題の1つと認識し、業界動向および事業展開に備えた内部留保を勘案した上で、安定的に配当を継続することを基本方針としております。2019年度につきましては、連結配当性向30%の基本方針を堅持し、中間配当は期初の予想通り、1株当たり14円とさせて頂きました。

■ 期末配当予想

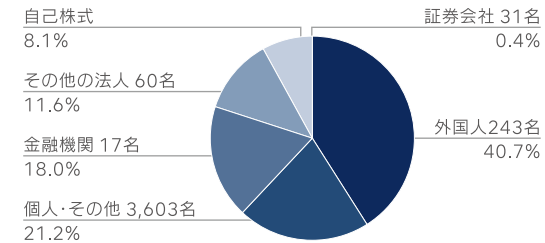
期末配当は、期初公表通り1株当たり14円を予想しております。中間配当金を合わせた年間配当総額は28円となり、連結配当性向は36.2%となる見込みです。



株式の状況 (2019年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 375,000,000株
- 発行済株式の総数 94,259,400株
- 株主数 3,955名

■ 株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	6,937千株	8.0%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.2%
中西崇介	4,291千株	5.0%
中西千代	4,291千株	5.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,154千株	4.8%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,040千株	3.5%
中西英一	2,814千株	3.2%
中西賢介	2,806千株	3.2%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,648千株	3.1%

(注) 1. 当社は、自己株式を7,614千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (2019年6月30日現在)

社名	株式会社ナカニシ	役員	代表取締役社長執行役員	中西英一
設立	1951年2月		代表取締役副社長執行役員	中西賢介
代表者	代表取締役社長執行役員 中西英一		取締役常務執行役員	松岡 薫
資本金	867,948,542円		取締役	野長瀬 裕二
従業員数	1,125名(連結)		取締役	鈴木 布佐人
本社	栃木県鹿沼市下日向700番地		常勤監査役	豊玉 英樹
事業所	東京事務所 大阪事務所		監査役	染宮 守
	モスクワ事務所(ロシア)		監査役	澤田 雄二
主要関係会社	NSK-America Corp.(アメリカ) NSK Europe GmbH(ドイツ) NSK France S.A.S.(フランス) NSK United Kingdom Ltd.(イギリス) NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン) NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア) NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国) Dental X S.p.A(イタリア) NSK Dental Korea Co.,Ltd.(韓国) NSK America Latina Ltda.(ブラジル) Integration Diagnostics Sweden AB(スウェーデン)			
主要取引銀行	足利銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行			

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二及び鈴木布佐人は社外取締役です。
2. 監査役 豊玉英樹、染宮守、澤田雄二は社外監査役です。